

平成30年度事業計画書

法人の名称 特定非営利活動法人 横浜こどもホスピスプロジェクト

1 事業活動方針

生命を脅かす病気を持つ子どもとその家族へのレスパイトケア・ビリーブメントケアを始めとする緩和ケアの提供を目的とした在宅支援施設子どもホスピスの開設を目指した準備活動と子どもホスピスを社会に知らしめる広報活動を行っていく。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 小児緩和ケアに関する実態調査や啓発及び普及活動

ア こどもホスピス啓発イベント

- ・内 容 こどもホスピスと小児緩和ケア講演会とコンサート
- ・日 程 11月3日、1月26日
- ・場 所 市内ホール
- ・従事者人員 講師3人、演奏家1人、小中学校合唱グループ2、職員/ボランティアスタッフ計30人
- ・受益対象者 小児医療に関心のある医療・福祉・教育関係者、一般の方300人
- ・支出見込額 2,173,000円

イ こどもホスピス・小児緩和ケア啓発シンポジウム

- ・内 容 イギリス、オランダ、ドイツなどのこどもホスピスを視察後、関係者を招聘し、国内外のこどもホスピスの取り組みを共有するシンポジウムを開催する。
- ・日 程 視察9月末～10月初めの予定。シンポジウム2月11日開催。
- ・場 所 市内ホール
- ・従事者人員 海外講師3人、国内講師6人、職員2人、実行委員10人、通訳2人ボランティア20人
- ・受益対象者 こどもホスピス・小児緩和ケア、病児の在宅支援に関心のある医療・福祉関係者、一般の方300人
- ・支出見込額 3,362,400円

ウ こどもホスピス普及活動

- ・内 容 小児病棟へのサンタクロース訪問
- ・日 時 12月24日
- ・場 所 横浜市立大学附属病院小児科
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 60人
- ・支出見込額 30,000円

エ 実態調査

- ・内 容 小児がん患者の遺族を対象としたアンケート調査や聞き取り調査
- ・日 程 通年

- ・場 所 神奈川県内
- ・従事者人員 職員 2 人、横浜市大看護学部 調査チーム
- ・受益対象者 難病等によりお子さんを亡くされたご家族 20 人
- ・支出見込額 1,122,000 円

② 小児緩和ケアに関する人材の育成に関する事業

ア 小児緩和ケアに関する研修会（『病児と遊びの研究会』）

- ・内 容 小児緩和ケアに関する疾病別のこどもを持つ親の講演と病気や障がいがある子供との遊び方の研修など
- ・日 程 6 月 16 日、8 月 25 日、10 月 20 日、12 月 8 日、1 月 19 日
- ・場 所 横浜市内会議室
- ・従事者人員 講師 2 人（x5 回）、職員 2 人、ボランティアスタッフ 5 人
- ・受益対象者 小児医療に関心のある一般の方、医療職や保育等を目指す方 40 人/回
- ・支出見込額 1,603,000 円

イ こどもホスピス・小児緩和ケア人材育成プログラムの構築

- ・内 容 小児緩和ケアを体系的に学ぶカリキュラムを開発し、2 クール展開。
- ・日 程 11 月 23 日～25 日（第 1 クール）、2 月 9 日から 10 日（第 2 クール）
- ・場 所 市内会議室
- ・従事者人員 講師 7 人、職員 2 人、実行委員 10 人
- ・受益対象者 命を脅かす病気の子どもと家族の支援に関心のある地域住民、医療従事者、医療・福祉・教育分野の学生 など
- ・支出見込額 1,418,800 円

ウ 多職種連携勉強会

- ・内 容 命を脅かす病気の子どもや家族を取り巻く課題解決に繋げる仕組みを作り、支援ネットワークを構築するための勉強会
- ・日 程 年 3 回
- ・場 所 市内会議室
- ・従事者人員 講師 3 人、職員 2 人、運営委員会 10 人
- ・受益対象者 医療従事者、行政、小児がんなど患者家族会、支援団体、教育関係者、関連福祉団体など
- ・支出見込額 477,000 円